

横浜商工会議所 卸・貿易部会 主催

東日本大震災 緊急労務対策セミナー

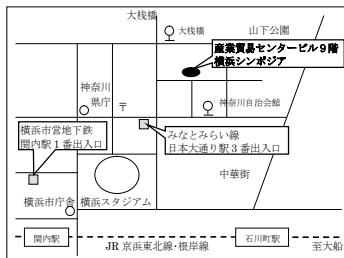
3月11日に発生した東日本大震災により、当地横浜においても生産調整や休業等企业活動の停滞は、製造業のみならず様々な分野に及んでおり、一刻も早い企業経営の健全化に向けて、今こそ経営戦略の1つである労務管理に関し、先を見据えた早急な対応が不可欠であります。そこで、下記により緊急労務対策セミナーを開催しますので、この機会に是非ご参加下さい。

日時

平成23年6月1日(水)
14:00~17:00

場所

横浜シンポジア
【横浜市中区山下町2番地産業貿易センタービル9階】



- みなとみらい線日本大通り駅
3番出口から徒歩5分
- JR関内駅南口から徒歩15分
- 横浜・桜木町から市営バス利用
26系統：大棧橋 下車
8・58系統：神奈川自治会館下車

<講師プロフィール>

荒木 秀(あらき しゅう)

1960年生まれ。秋田県出身。上智大学卒。本名の荒木康之で社会保険労務士登録。

㈱ヒューマンリソースみらい代表取締役。社会保険労務士事務所みらい代表。

小売業と外食業の経営に長くたずさわる。自社の経営やコンサルティング会社での勤務などの豊富な経験を踏まえ、賃金制度の構築や労務問題を中心に、経営者の目線で本音のアドバイスを提供し厚い信頼を得ている。



< セミナープログラム >

- ①震災に伴う休業の考え方
直接被災と間接被災で違う、休業の取り扱い方と賃金の支払いについて
- ②節電対策としての変則勤務への注意点
一年変形や36協定は現状のまま変則勤務は可能か？割増賃金との関係は？
- ③雇用維持のための人件費削減の手順
止むを得ず人件費を削減する場合の残業の削減から人員整理までのステップ
- ④雇用調整助成金などの各種支援策について
休業に伴う雇用調整助成金に、震災の特例が設けられ申請がしやすくなりました。他にもこの機会に使いやすい助成金を紹介します
- ⑤この機会に見直したいこと
危機に強い体質にするための労務の観点からの提案
- ⑥絶対にやってはいけないこと
対策の進め方を間違えると、無用な労務トラブルを招いてしまいます。不利益変更や未払い残業への配慮は十分に行います

●定員：当所会員 150名

※1社で複数名のお申し込みがある場合、できるだけ多くの企業の皆様にご参加頂くため、参加制限をお願いする場合があります。

●参加費：無料

●申込方法：下記の申込書に記入のうえ FAX(045-671-7410)または郵送にて、来る5月23日(月)までにお申し込み下さい。

●問合せ：横浜商工会議所 会員情報部 部会活動推進課 担当：兼平・山口(045-671-7427)

切り取らずにFAX下さい

FAX: 045(671)7410

A1

横浜商工会議所 卸・貿易部会 主催 緊急労務対策セミナー 参加申込書

所属部会		貴社名			
連絡担当者		TEL	FAX		
お役職		ご芳名			

※ご記入頂いた情報は、本部会運営で利用するほか、横浜商工会議所からの各種連絡・情報提供のため利用することがあります。

※受講票等はありませんので、当日は直接会場へお越し下さい。